



2024 S-FJ Japan League Rd.1



Super FJ オートポリスシリーズ Rd.1

GOLD CUP RACE 2024 in AUTOPOLIS

2024年 3月 31日 天候:曇り/ドライ 参加14台



テキスト:はた☆なおゆき

昨年より名称を「ジャパンチャレンジ」から「ジャパンリーグ」に改めたスーパーFJの全国戦は6シーズン目を迎えて、いよいよ鈴鹿サーキットも舞台に加えることになった。これにより、スーパーFJを開催する全サーキットをカバーすることとなり、7イベント 9レースで競われることとなった。また、1イベント 2レース開催の賞金も、各レース全額賞金となったのも、もうひとつのトピックスと言えるだろう。

その皮切りとなるレースが今年はオートポリスで開催された。エントリーは14名ながら、うち13名がオートポリスをホームコースとする、いわばレギュラードライバーで、遠征ドライバーは1名に留まったのは残念ではある。だが、その1名が16歳になったばかりのドライバーで、すでに鈴鹿サーキットと筑波サーキットでレースを経験。しかも、フォーミュラビート開幕戦・鈴鹿において、雨の決勝でデビューウインを飾っている、酒井翔太選手であるから、これはもう期待せずにはいられない。

公式予選

昨年のチャンピオン、宇高希選手がオートポリスシリーズからの卒業を果たしたものの、ランキング2位で最終戦を制している永原蒼翔選手(ピットワークながはら/MYST)や、ランキング4位で第2戦のウィナー、KOUKI SAKU選手(K2sports☆EKC☆SPV)ら、「主」とされるドライバーの多く

が継続参戦。前述の酒井選手が、どう渡り合うか注目された。

予選は 10 時から 15 分間の計測で競われた。「雨が降って、やんでも霧が出る」オートポリスウェザーが心配されたが、早朝のみ霧で覆われただけで、予選の頃にはまったく過不足ないコンディションとなっていた。

計測 1 周目に 2 分 0 秒 636 をマークしてトップに立ったのは永原選手で、これに続いたのが酒井選手。若手が揃って好調な滑り出しを見せ、次の周には永原選手が 1 分 59 秒 245、酒井選手も 1 分 59 秒 585 に縮めるも、ふたりを上回るタイムを出してきたのが、篠田義仁選手(イワモトレーシング/制動屋/SJ)と久々参戦の吉元陵選手(安藤商会オートパンサーNEO デザイン ED)で、それぞれ 1 分 58 秒 809、1 分 59 秒 243 をマーク。さらに次の周には吉元選手が 1 分 58 秒 206 でトップに立ち、1 分 58 秒 609 とわずかな伸びに留まった篠田選手を従えた。

この後、上位のタイムは伸び悩み、早々とピットに戻るドライバーも現れる中、計測 4 周目に 1 分 58 秒 500 をマークして、2 番手に飛び込んできたのが KOUKI SAKU 選手だった。

一方、酒井選手はラストアタックで 1 分 58 秒 942 まで詰めたが、4 番手に。「オートポリスを走ったのは今主からで、地元の方々速いですね。練習走行では良くて、けっこう前の方を走っていましたが、皆さんニュータイヤ履くと、どれぐらい上がるのか分からなかったの。自己ベストは更新できたんですが、ベストの周に引っかかっているの、もうちょっと行けたのかなって感じで、ちょっと悔しいです。決勝はもうちょっと考えて、優勝できるように頑張ります」と酒井選手。そして永原選手は 1 分 58 秒 950 で 5 番手となった。

ポールポジションを獲得した吉元選手は、2016 年のチャンピオン。ブランクはあったものの、腕に衰えのなかったことを明らかにした。

ポールポジション:吉元陵選手(安藤商会オートパンサーNEO デザイン ED)

「久しぶりのレースです。でも、水が漏れてしまって、水温が高くなって。もうちょっといけたと思うので、それが残念です。去年までレンタルで走っていたドライバーが今年はいないってことになって、出ないなら自分が出ようって。決勝も頑張りますが、車が最後まで保つか、ちょっと心配です」



予選 2 番手:KOUKI SAKU 選手(K2sports☆EKC☆SPV)

「う～ん、久しぶりのニュー(タイヤ)だったので、まあ。本当はもっと行けると思ったんですけど、ちょっと引っかかっちゃって、58 秒 2 ぐらいまでいけたかな、という感じで、残念です。決勝はお遊びなんで、お祭り(笑)」



予選 3 番手:篠田義仁選手(イワモトレーシング/制動屋/SJ)

「路面温度が低めかと思いきや、意外にコースインしてみると高めだったので、前半にタイム出しておかないと後半に厳しくなるかなという予想だったので、初めはアウトラップをまとめながら、少しずつタイヤを温めて、3 周目からフルアタックをした感じですね。遅れてコースインしてクリアが取れたので狙いどおり、前半でタイム出せて良かったです。スタート決めて、1 周目をうまくまとめてこられたら、まああの戦い方はできるので楽しみです」





決勝レース

決勝レースは 10 周での争い。サーキット上空は雲で覆われていたものの、雨が降る気配は、どうやらなさそうだ。水漏れで不安を抱えたポールシッターの吉元選手だが、スタート直前に「違うところかと思っていたら、エンジン本体で。クラック入っていたんです。全開にすると漏れるんでしょう、最後まで走れるかどうか。何もレースの時に出不きゃいいのに」と、状況は思いのほか深刻なよう。

しかもスタートで吉元選手は完全に出遅れてしまう。1コーナーへのホールショットを決めたのは KOUKI SAKU 選手ながら、絶妙のスタートを決めて 2 番手に浮上していた篠田選手が 3 コーナーでトップに躍り出る。そして注目の酒井選手もスタートに失敗し、永原選手の先行を許していた。

オープニングラップを終えた時点で、篠田選手に大きく遅れることなく、KOUKI SAKU 選手と吉元選手、そして永原選手が続いて早くもトップグループが形成される。少し間隔を置いて、酒井選手が続く。2 周目の1コーナーでは再び KOUKI SAKU 選手がトップに立つも、そのまま引き離すまでには至らない。

逆に 2 周目の1コーナーでは吉元選手が 2 番手に浮上する。

吉元選手のチャージは激しく、必死にガードを固めていた KOUKI SAKU 選手ながら、時おりペースが鈍るのは「去年の最終戦からエンジンが止まる症状が出ていて、またパカパカ始始めて。



それが出なければ普通に走れるんですけど、每周出るわけではないので」というためだった。6 周目が特に深刻で1コーナーでは吉元選手に、そして第2ヘアピンでは篠田選手に、さらに 7 周目には永原選手の先行も許していた。逆にトップに立った吉元選手は、その直後のプッシュが凄まじく、1 周戻ってくると 1 秒以上

のマーヅンを作り、そのまま逃げるかと思われた。しかし、吉元選手はそれまでのチャージでタイヤを酷使してしまつたようで、やがてペースが思うように上がらなくなる。

終盤にじわりじわりと篠田選手がトップとの差を詰め、吉元選手との差をコンマ 3 秒としたが、そこでタイムアップ。吉元選手が 2020 年の最終戦以来となる優勝を飾つた。3位は永原選手で、4位は KOUKI SAKU 選手。なお、オートポリスシリーズには今年から 50 歳以上のドライバーに対して「ジェントルマンクラス」が設けられ、初代ウィナーにも輝いた。

一方、酒井選手は5位に。「スタートを失敗したのと、その直後に判断ミスがあつて、順位を落として、前から離されてしまいました」と語るも、その後は大きく離されず。「次につながる経験になりました。ジャパンリーグはたぶん追うことになります」というだけに、今後の成長を大いに期待したい。



6位は碓井ツヨシ選手(C.O.B-KART)が獲得、最終ラップのストレートで渡辺裕和選手(イワモトレーシング★Team タカハシ)を捕らえていた。

なお、オートポリスシリーズの第 2 戦は 5 月 12 日に、そしてジャパンリーグの第2イベントは 4 月 27~28 日に岡山国際サーキットで 2 レース開催される予定である。



ウィナー：吉元陵選手(安藤商会オートパンサーNEO デザイン ED)

「エンジンはなんとか！ 水温は最後まで保ってくれました。ウォームアップをまったくしなかったので、スタートは大失敗(笑)。4 年ぶりぐらいのスタンディングスタートというもの、ありましたけどね。ロングランテストができていなかったのて後半きつかったけど、なんとか逃げ切れまして。トップに立った後、後ろがバトルしてくれるかと思ったので、頑張ってプッシュしてマーヅン作れたんですけど、最後ちょっとタイヤがタレてきたのか、タイムが上がらなかったので守るのが精いっぱいでした。今後のことはまだ分からないですけど、できるだけ出ようと思っています」

2位:篠田義仁選手(イワモトレーシング/制動屋/SJ)

「スタートはすごく決まって、2 台前に出られて『よしよし』と思っていたんですが、KOUKI SAKU 選手がストレートでスッと来られたので、焦って……。前に出られたことで、かえって落ち着きがなくなっていたんですが、逆に抜かれてからは自分の冷静な気持ちを取り返すことができました。淡々と行くしかないし、しっかりタイヤをセーブしていけば、という狙いで最後まで諦めずに吉元選手に食らいついていった、という感じですね。最後は吉元選手もタイヤを使い込んでいた感じもあったので、自分としても狙いどおりでしたが、1周捕えるのが遅かったような気はしました。でも、レースとしては大満足で、クリーンな戦いのできたことを、一緒に戦った皆さんには感謝したいと思います」

3位:永原蒼翔選手(ピットワークナガハラ/MYST)

「もうちょっとでしたけど、もっと前半からタイムを上げて前に出たかったんですが、タイム詰めるのが遅かったですね。予選は故障もあって、失敗しました。これからも頑張ります」



ジェントルマンクラスの表彰





GOLD CUP RACE 2024 in AUTOPOLIS ROUND.1



6

JAF地方選手権スーパーFJレース 第1戦

スーパーFJ 公式予選

2024 / 3 / 31 11:07



正式結果

Weather: 晴れ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track :ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	26	-	1	吉元 陵	安藤商会オートハンサー-NEOデザインED	MYST KK-SII	1'58.206	4 / 6		142.348
2	56	G	1	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST19J	1'58.500	5 / 8	0.294	141.995
3	44	-	2	篠田 義仁	イワモレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	1'58.609	4 / 7	0.403	141.864
4	22	-	3	酒井 翔太	ファーストカレッジKK-S II	MYST KK-SII	1'58.912	7 / 7	0.706	141.503
5	51	-	4	永原 蒼翔	ビットワークながはら/MYST	MYST KK-SII	1'58.950	4 / 8	0.744	141.458
6	24	G	2	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	2'00.122	5 / 7	1.916	140.078
7	89	-	5	高橋 裕和	イワモレーシング★teamカハシ	MYST KK-SII	2'00.201	8 / 8	1.995	139.986
8	15	G	3	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	2'00.494	3 / 8	2.288	139.645
9	31	G	4	古賀 徳吉	カーショップフクダL&S碑文谷薬局COB	MYST KK-SII	2'01.151	4 / 8	2.945	138.888
10	19	G	5	大隈 雄策	ミシレーシング オガテック KKS II	MYST KK-SII	2'01.481	4 / 6	3.275	138.511
11	13	G	6	佐藤 修平	(株)あおい空調COBタツミ	MYST KK-SII	2'01.523	7 / 8	3.317	138.463
12	98	G	7	JUN	BlueStyle・オガテック・ER2C	MYST KK-SII	2'02.110	6 / 7	3.904	137.797
13	6	G	8	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-SII	2'02.716	6 / 8	4.510	137.117
14	77	-	6	友田 勇成	TMD-LBJレーシング17J	WEST17J	2'05.902	3 / 7	7.696	133.647

***** 以上予選通過 (2'33.969 - 130%) *****

JAF地方選手権スーパーFJレース 第1戦

スーパーFJ 決勝

2024 / 3 / 31 16:20



正式結果

Weather: 曇り

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Track :ドライ

Pos	No	Class	C.P.	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. Km/h	Best Time
1	26	-	1	吉元 陵	安藤商会オートハンサー-NEOデザインED	MYST KK-SII	10	20'00.157		139.476	1'59.091
2	44	-	2	篠田 義仁	イワモレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	10	20'00.459	0.301	139.441	1'59.078
3	51	-	3	永原 蒼翔	ビットワークながはら/MYST	MYST KK-SII	10	20'00.722	0.564	139.410	1'58.861
4	56	G	1	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST19J	10	20'01.977	1.819	139.265	1'58.926
5	22	-	4	酒井 翔太	ファーストカレッジKK-S II	MYST KK-SII	10	20'05.120	4.962	138.901	1'59.395
6	24	G	2	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	10	20'27.851	27.693	136.330	2'01.425
7	89	-	5	高橋 裕和	イワモレーシング★teamカハシ	MYST KK-SII	10	20'27.931	27.773	136.321	2'01.294
8	15	G	3	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	10	20'30.463	30.305	136.040	2'01.945
9	31	G	4	古賀 徳吉	カーショップフクダL&S碑文谷薬局COB	MYST KK-SII	10	20'42.788	42.631	134.691	2'01.953
10	6	G	5	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-SII	10	20'59.537	59.379	132.900	2'04.291
11	13	G	6	佐藤 修平	(株)あおい空調COBタツミ	MYST KK-SII	10	20'59.786	59.628	132.874	2'02.875
12	98	G	7	JUN	BlueStyle・オガテック・ER2C	MYST KK-SII	10	21'00.696	1'00.539	132.778	2'03.813
13	77	-	6	友田 勇成	TMD-LBJレーシング17J	WEST17J	10	21'41.040	1'40.882	128.661	2'08.431
***** 以上完走 (規定周回数 9Laps) *****											
19	G			大隈 雄策	ミシレーシング オガテック KKS II	MYST KK-SII	7	20'22.325	3Laps	95.649	2'02.289

